

関西学院大学継続

啓明学院 中学校・高等学校

2023

Hands and hearts are trained to serve
both man below and God above



岡山県瀬戸内市牛窓町沖の前島にある啓明学院前島キャンブと関西学院青島キャンブ。

関西学院大学継続

啓明学院中学校・高等学校

〒654-0131 神戸市須磨区横尾9丁目5番1
TEL 078-741-1501 FAX 078-741-1512
<https://www.keimeid.ed.jp>



知・徳・体のバランスがとれたキャンパス。

スパニッシュ・ミッション・スタイルの校舎群は、「知」「徳」「体」の順に配置され、キリスト教精神にもとづく全人教育を象徴しています。

「啓明」とは、夜明け前の闇のなかで希望の道を指し示すように輝く「明けの明星」ヴィーナスのことです。

「ここに学ぶ生徒一人ひとりが、世の光となって輝いてほしい」という願いが込められています。



啓明学院の教育理念



啓明学院と関西学院は同じランバスファミリーです。

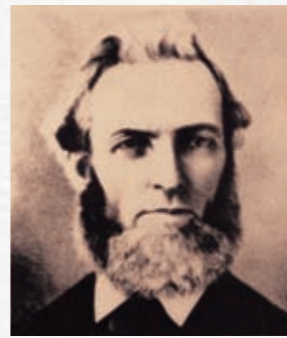
上段の中央が父のJ.W.ランバス博士、その右がW.R.ランバス博士と妻のデイジー夫人、その右が母のメアリー夫人です。ランバスファミリーが創立したパルモア学院から啓明学院へ、ランバスファミリーの魂は脈々と受け継がれています。

135年以上にわたって発展してきたランバスファミリー校。

1886年(明治19)アメリカ人宣教師J.W.ランバス博士と夫人のメアリーが、現在の大丸神戸店東側の旧居留地で開いた夜間英語学校が、すべての始まりでした。4か月後に息子のW.R.ランバス博士も加わり、「読書館」と命名されました。翌年には寄付者のパルモア牧師の名前からパルモア学院と名付けられました。

そのパルモア学院から、1889年(明治22)に関西学院、1923年(大正12)にパルモア学院女子部が設立されました。パルモア学院女子部は2年後にパルモア女子英学院と改称、1940年(昭和15)、啓明女学院と校名を変えました。

そして2002年(平成14)、ランバスファミリーの精神を継ぐ中高一貫校として、啓明学院が誕生しました。時空を超えてランバスファミリーの魂がひとつになったのです。2023年には学校創立100周年を迎えます。



J.W.ランバス博士



M.I.ランバス夫人

学生時代に「I give five dollars and myself.」とアジアと日本への奉仕を決意した女性です。



W.R.ランバス博士

アジアからアフリカ、中南米、戦乱のヨーロッパと、世界中を医療と教育を中心に伝道したW・R・ランバス博士。日本ではわずか4年の間に神戸栄光教会を中心に関西学院、広島女学院、パルモア学院などの諸学校と多くの教会を作りました。



啓明学院は2023年に創立100周年を迎えます



神戸栄光教会

神戸栄光教会で前島オリエンテーションキャンプの開会礼拝を行います。



広島女学院

修学旅行では、広島女学院のゲーンズ・チャペルで平和メッセージを互いに発表する合同礼拝を行っています。

関西学院大学・大学院までの一貫教育です。

啓明学院中学・高校から関西学院大学・大学院へ、ここには大学教育まで総合的に配慮した人間教育と知的鍛錬があります。大学・大学院を終えたあと最も重要になる、生涯にわたって学びつづける自学自習の姿勢を本校で確立しましょう。そして、愛と平和と奉仕の精神に貫かれた、あなたのライフスタイルの原型となるスクールライフを過ごされるよう願っています。

本校では、中学・高校を通し、大学での学びを想定して、高等教育への準備を徹底的に行います。学術の面だけでなく人格面でも、大学での大きな成長が期待されます。



関西学院大学・西宮上ヶ原キャンパス
啓明学院の全校生が関西学院大学図書館(開架式180万冊)を利用できます。



関西学院大学・西宮聖和キャンパス
教育学部があり、教育のあるべき姿を追求しています。



関西学院大学・神戸三田キャンパス
総合政策学部に加え、理学部、工学部、生命環境学部、建築学部が新設されました。

世界に待たれている希望の光となるために

朝、太陽が昇る直前に東の空に輝く金星。それは「啓明」とも呼ばれる明けの明星であり、永遠に続くかと思われる暗い時代にも必ず喜びの光が訪れることを示す、希望のしるしです。

神戸旧居留地の読書館から歩みを始めた啓明学院は三宮時代を経て、須磨区妙法寺の素晴らしい環境に美しい校舎、そして時代を先取りする充実した施設を持つ学校となりました。

世界や社会を身近に感じる多様な取り組みや、理数に力を入れたりリベラルアーツ型のカリキュラム、そして自然



関西学院大学の村田治学長(右)とともに啓明学院の指宿力校長

に親しむキャンプ生活など啓明ならではの教育は、一人ひとりの個性と創造力を伸ばし、本物の力を育てます。

そして教育の核となるキリスト教主義教育は、他者を尊重しながら協働する力を高め、困難な課題にも粘り強く挑戦する高いモラルを持った人間へと導くに違いありません。

このような啓明で学ぶ生徒たちは、これからの世界に待たれている希望の光となることでしょう。その一人として、あなたがここで学ばれることを楽しみに待っています。

啓明学院中学校・高等学校 校長 指宿 力



啓明学院中学校

共に生き、共に学び、共に創り出そう

啓明学院は皆さんの共生、共学、共創の場でもあります。啓明で出会った仲間たちと共に生き、共に学び、共に創り出すことによって、決して奪われることのない自分の力をしっかりと蓄えてほしいと願っています。

共生

自分も他者も
生き生きとできる

共学

共創

多様性を認め合い 知識と発想を寄せ合い
異なる他者が一緒に学ぶ 良いものを創る

啓明学院中学の教育

人間としての土台をつくり、 基礎学力を鍛えます。

啓明学院は、世界の人困っている課題にチャレンジする、
ソーシャルアントレプレナーシップ、社会起業家精神にあふれたグローバルリーダーを、6年間かけて育てます。



メチャビー

中学に入学するとすぐに、啓明学院前島キャンブ(瀬戸内市牛窓町)でオリエンテーションキャンプがあります。泥んこになりながらひとつのボールを追うメチャビーなどのプログラムを通して、みんなすぐに仲良くなります。

めざしているのは全人教育です

私たちがめざしているのは全人教育です。知識だけ、運動能力だけ、そんな一部分ではなく、人間をまるごととらえた学びに努めています。本校のスクールモットーは「手と心は神と人に仕えるために鍛えられる」です。「思いやりの心」がなくては真のリーダーになれません。愛と奉仕の心あふれる平和な世界を実現するため、キリスト教精神にもとづき人間力アップに取り組んでいます。



自学自習の習慣を育ててほしい

本校の授業は、知的好奇心を内面からあふれださせ、生きたインスピレーションを与えて心に点火させることが目標です。自分からテーマを見つけ、自分から勉強する自学自習の習慣を育ててほしいのです。そのためにも学力を鍛えて人間性を深め、学校生活を大いに楽しんでください。



失敗の経験も大きな財産になる

本校は「本を読み、友と交われ、汗をかけ」を合言葉に、協働の学びを実践しています。教師や先輩に感化されて目覚めた生徒は、関心や興味を広げていきます。圧倒的な体験の機会がみなさんを待ち受けています。門をたたき、チャレンジしてください。自分で自分を育てつづける姿勢が芽生えてくるに違いありません。

キリスト教教育

日々の礼拝が 建学の精神をはぐくみます。

少年少女の心に種をまく

キリスト教教育の柱になるのが礼拝です。毎日、チャペルで生徒も教師も神の前に集い、人としての生き方を考えます。礼拝は、自分を見つめ、振り返るひとときです。

そして、少年少女の心に種をまくのが聖書の授業です。「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」

聖書の言葉は、青春だけでなく生涯を通して人生の支えになることでしょう。



奨励に耳を傾ける。



クリスマス礼拝で讃美歌を合唱。

読書教育

「読む」「考える」「書く」「話す」 自学自習の精神を育てます。

自学自習の方法と習慣を身につける

自分で課題を探し、自分で調べ、答えを見つけ、文章にまとめて発表し、人の評価を素直に聞く。これが学問の基本です。こうした自学自習の習慣を身につける練習を重ねます。読書の授業では、「読む力」をつけながら、「考える力」「書く力」「話す力」をはぐくみます。そして、教科の枠を超えたスタディスキル(学問する技術)の扉を開きます。

1年かけて自分の「著書」を仕上げる

2年生になるとリサーチレポートの型を学び、奈良での校外学習レポートを作成します。



3年生では、修学旅行をテーマに、資料を読み込み、カード化。現地で取材して、リサーチレポートにまとめます。本文を書きあげるだけでなく参考文献を明示し、表紙を描き、製本まで行います。1年かけて自分だけの「著書」に仕上げるのです。学内出版物として図書館の書架に並び、優秀作品は蔵書として残されます。

読書教育の内容

中1	【基本となる読書技術の習得】 ・自分で本を探せるように図書館の分類法を学ぶ ・共通の読書体験を通じてパラグラフライティングの基礎を学び、その成果を「ブック・レポート」として作成する
中2	【情報活用・読書技術の訓練】 ・パラグラフごと構成された書評である「ブック・レビュー」を作成する ・新書や事典、Web情報などさまざまなメディアの活用方法を訓練する ・「リサーチ・レポート」にむけて、レポートの型を学ぶ
中3	【論文作成と成果の共有】 ・自らの課題(テーマ)を決定し、基本参考文献を入手する ・基本参考文献を読み解き、それを「ノートカード」に記録していく ・「ノートカード」から「リサーチ・レポート」を完成させる ・各自のレポート内容をプレゼンテーションして成果を共有する
高校	楽しむ読書(初級読書)と読書技術の体系をベースに、より深い探究学習である「学術研究」へと発展していきます

英語教育

グローバルリーダーとして日本の文化を 英語で語れる人になる。

「話す」「聞く」英語環境がここにある

啓明学院は国際校を名乗ってはいませんが、多くの帰国生や留学生を受け入れています。英語を母国語とする教師もあり、英語を話したり聞いたりする環境に恵まれています。

1年生の英語キャンプには高校生や留学生がリーダーとして参加しています。英会話の授業では積極的なコミュニケーションの機会を増やす工夫をしています。

「読む」「書く」はe-Bookの多読から

パソコンやiPadで読むe-Book。レベルは10段階。文学、歴史、科学など豊富なジャンルの中から、自分のレベルに合わせて1冊を選びます。最初にその本のキーとなる5単語の意味を学びます。本文はネイティブが読んでくれるので、読みながら「聞く」も同時に学習できます。

読書が終わると理解度をはかるテストがあります。家庭でも読めます。どのような本を何冊読んだか、テスト結果も含めて教師のもとへデータが送られてきます。

中学では英語の4技能の基礎を徹底的に学び、英検準2級の取得をめざします。



英語の4技能を1年生からいねいに学びます。

理数教育

「なぜ?」に気づく感性を育て、 考え方の道筋と科学の奥深さを学びます。

世界を少しでもよくするために

すべての学問は、「なぜ?」から始まります。その「なぜ?」を、理論(頭で考える)と実験・観察(実際に試してみる)を繰り返しながら、追究してきたのが科学の世界です。昔から人間は科学の知恵を生かして、さまざまな問題を解決してきました。

「算数」から「数学」へ

数学ではまず、「負の数」を理解します。そして、文字を使って式を立て、思考の道筋を示しながら、問題を解いていきます。「知識」を習得するだけでなく、論理的に考える思考力を身につけます。

6年一貫教育を生かして

理科は、1年生では実験・観察などを中心に授業を行い、小学校で学んだ基礎的な知識や技術をさらに発展させます。それに続く2年間は、各分野に分かれて系統的に学び、高校に進むとさらに論理的な思考を深めます。

2021年度から1年生の理科と2・3年生の数学の授業を週1時間ずつ増やしました。6年一貫の環境を最大限に生かし、科学の不思議に触れる面白さ、問題を解く達成感を豊かに味わってほしいと願っています。



中学生も電子黒板を使って授業。生徒の理解力を高めます。

ICT教育

コンピュータやインターネットの 基礎を学びます。

1人1台のiPadが学びの扉を開きます

入学すると1年生は全員「情報基礎」の授業を受けます。コンピュータやインターネット、電子メールの基礎知識や操作方法を身につけます。

GIGAスクール構想による国からの補助を受けて、iPadを1人1台全員に持たせています。Wi-Fiと電子黒板も全教室に設置、授業に活用しています。



iPadは授業だけでなく家庭学習にも活躍しています。



生徒証は、関西学院大学図書館の閲覧証も兼ねています。西宮・上ヶ原キャンパスにある関西学院大学図書館(開架式180万冊)を利用できます。入学後すぐに図書館の見学と利用指導を受けます。



関西学院大学の図書館を見学、中高大連携がすぐに始まります。

芸術教育

自分を表現する力を養い、インスピレーションの不思議さを体で感じます。

美しいと感じる心、感動する心を育てます

心に染み入る歌声が打ちひしがれた心をよみがえらせる、そんな力が芸術にはあります。芸術の楽しみは、日々の生活にうおいをもたらし、人生の幅を広げ、世界中に友達をつくります。

多感な思春期に、真なるもの、善なるもの、美なるもの、聖なるものに触れることを、何よりも大切にしています。



授業で金管楽器にも触れます。



陶芸家の指導により完成した陶芸作品は、前島・啓明窯で見事な備前焼になります。

体育・スポーツ

チャレンジ精神を発揮するために健康と体力を養います。

かけ足が日課です

どんな場所、どんな条件のもとでも、自分の力を存分に発揮するためには、健康と体力が不可欠です。

啓明学院中学校では、6時間目終了後にかけ足を行います。仲間や先生たちと共に汗を流す中で、自分と向き合います。3年間の取り組みで心身ともに力がつき、スポーツに目覚める生徒も増えています。



体育祭



2月に行われるマラソン大会

カリキュラム

週5日の必修授業と土曜講座

月曜日から金曜日まで、週5日・32時間の必修授業を行います。土曜日は、講座制の授業に取り組みます。(2023年度入学生に予定しているカリキュラムです。)

	1 年 生	2 年 生	3 年 生
1			
2	国 語	国 語	国 語
3			
4			
5			
6	社 会	社 会	社 会
7			
8			
9	数 学		
10		数 学	数 学
11			
12	理 科		
13			
14		理 科	理 科
15			
16	音 楽		
17		音 楽	音 楽
18	美 術	美 術	美 術
19	保 健 体 育		
20		保 健 体 育	保 健 体 育
21			
22	生 活 研 究		
23		生 活 研 究	生 活 研 究
24			
25			
26	英 語	英 語	英 語
27			
28			
29			
30	聖 書	聖 書	聖 書
31	読 書	読 書	読 書
32	H R	H R	H R
	チャペルアワー		
	土曜講座		

時間割 例:1年生

時間	曜日	月	火	水	木	金
		朝の読書・SHR				
1	8:25~ 8:40	国語I	数学II	体育	英語III	英語II
	9:35~ 9:55	礼拝 ※水はクラス礼拝				
2	10:05~10:50	理科I	理科II	数学I	数学II	英語I
3	11:00~11:45	英語I	音楽	技術家庭	体育	国語II
	11:45~12:25	昼休み ※昼食前に食前感謝				
4	12:25~13:10	数学I	聖書	英語III	音楽	美術
5	13:20~14:05	英語III	社会I	国語I	社会I	体育
6	14:15~15:00	読書	国語II	英語I	理科I	理科II
7	15:10~15:55	社会I	かけ足	H.R.	かけ足	かけ足

土曜講座

1時限 (100分)	8:45 ~ 10:25 (10分の休憩を含む)
礼 拝	10:35 ~ 10:50 (15分)
2時限 (100分)	11:00 ~ 12:40 (10分の休憩を含む)



深く、多面的な学びがあなたの好奇心・探究心に火をつけます

関西学院大学に進学するには、次の条件を満たす必要があります。「建学の精神を体現すること」「定められた成績基準を満たすこと」「大学教育を受けるに相応しい英語力(CEFR B1:英検2級程度)を有していること」例年95%の生徒がこの条件を満たし、220名以上の生徒が継続校推薦を利用して関西学院大学に進学しています。



ヴァチカン宮殿に残るラファエロ「アテネの学堂」

誰にも支配されず自由に生きるために —— リベラルアーツ*を学ぶ

この絵は、レオナルド・ダ・ヴィンチ、ミケランジェロとともに、ルネサンスの三大巨匠と呼ばれたラファエロが描いた「アテネの学堂」の一部です。中央に、「理想の世界を求めよ」と天を指差すプラトン、「現実の世界に真実はある」と手を水平にかざすアリストテレスが描かれています。ソクラテスやピタゴラスも描かれ、ここには私たちが探求すべき、人類の英知が見事に表現されています。

*リベラルアーツ ギリシャ・ローマ時代からルネサンスにかけて学びの中心になった、自由人であるための7学科のこと。文法、修辞学、論理学(弁証法)の3学と、算術、幾何学、天文学、音楽の4科、自由7科ともいいます。東洋でも六芸と呼ばれる学問がありました。どちらもリベラルアーツの源流です。

大学教育に向けて

プレップスクール宣言。

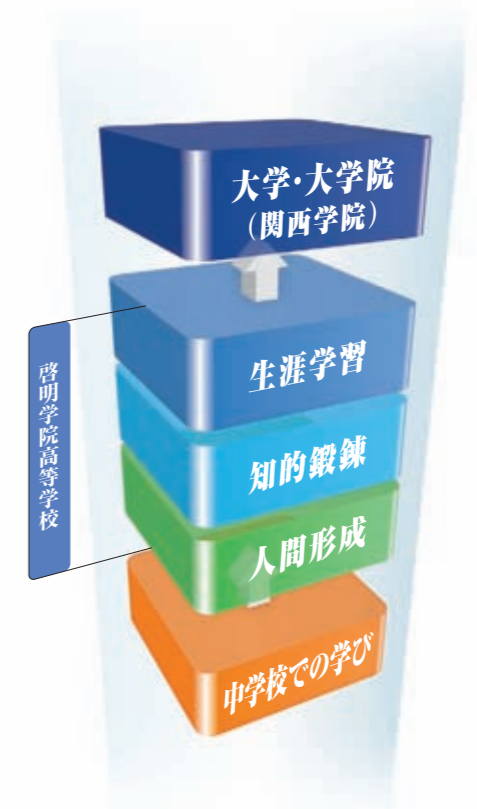
18歳からの学びを、 味わい楽しんでほしい。

「学術研究」「ソーシャルビジネスプラン」「フィールドワーク」を三つの柱として、世界の人が困っている課題にソーシャルアントレプレナーシップチャレンジする、社会起業家精神にあふれたグローバルリーダーを育てます。

生涯学びつづけられる基礎学力と 知的意欲をはぐくみます

ソーシャルアントレプレナーシップ社会起業家精神を発揮するためには、高度な専門知識や技術が必要です。本校では大学の学びにもつながる研究テーマを教師と一緒に探します。

大学と連携してチャレンジする機会もたくさんあります。失敗することもあります。失敗からこそ多くを学ぶのです。チャレンジして身につけた知識や経験を生かして、大学の学びをさらに意義あるものにしてほしいと願っています。



啓明学院高等学校



関西学院大学との高大連携も 進化しています

文系・理系に分けない文理横断型のカリキュラムを採用しています。関西学院大学への進学を考えて、学部に合わせて授業を選択します。

関西学院大学と本校とは、ランバスタファミリーとしての深い絆があります。「関西学院世界市民明石塾」に参加、土曜講座にも関西学院大学の先生や大学院生にご出講いただいています。

また、関西学院大学の高大連携科目履習により、本校の3年生は関西学院大学の授業が受けられます。授業の成果が認められれば、関西学院大学進学後に単位として認定されます。さらに、国際的に活躍する理系の若手研究者を発掘する「ROOT」プログラムにチャレンジし、全国の研究発表会で最優秀の文部科学大臣賞に輝いた生徒もいます(25ページ参照)。2020年度から「SDGs(持続可能な開発目標)」にも取り組んでいます。

キリスト教学

あなたの魂とスピリットを高めるための実践の場がここにあります。

愛と祈りと奉仕の心

神を畏れることを多感な思春期に知ることの大切さ、そして、「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない」という愛と奉仕と犠牲の精神を学びます。

才能や境遇に恵まれた者こそ、良心を高く保ち、奉仕の精神を発揮することが期待されています。これが「ノブレス・オブリージュ*」の精神です。自己中心に生きるのではなく、他人の痛みを思いやれる人間に成長するよう願っています。

魂と精神の成長のために

1年生では「聖書」を学び、2・3年生では「キリスト教学」として発展させ、倫理学・哲学・社会学・文化学を勉強します。仏教やイスラム教との比較なども学びます。生命の尊厳と平和の尊さを学び、一人ひとりの進路や学習目標をより明確にします。

啓明学院には、こうした魂と精神の成長のための目に見えないカリキュラム(ヒドゥン・カリキュラム)があります。建学の精神を体得するための実践の場がいろいろと用意されています。



生徒主導によるクラス礼拝(啓明今井会館にて)

*ノブレス・オブリージュ 才能や境遇に恵まれた者は、よりよい世界を創るために一生懸命努力する義務がある、という精神。

ソーシャルアントレプレナーシップ

ソーシャルアントレプレナー

社会起業家に必要な「課題に気づく心」と「事業化する力」を磨きます。

「他人ごと」ではなく「わがこと」として

「ビジネスプラン」作成の取り組みは2006年度に始めました。2016年度からは「啓明ビジネスプランコンテスト」を開催しています。「社会にひそむ課題」を見つけ、「解決策」を探り、「利益を出してビジネス化する」プランを作成し、クラス審査を経て最終審査に臨みます。

この取り組みの目的は、社会起業家の養成ではなく、「社会起業家精神」をはぐくむこと。商社やメーカーに勤めても研究者や主婦になっても、置かれた場所で社会の課題を「わがこと」として永続的な解決策を探る、そういう人に育ってほしいのです。

ソーシャルビジネスの現場を踏んで考える

ソーシャルビジネスの現場に足を運び、その活動を助けしながら、ソーシャルビジネスとは何か体験し考えを深める「フィールドワーク」の取り組みも行っています。その一つが「ミャンマースタディーツアー」です。現地で奮闘している日本人医師や起業家たちと触れ合い、貧困や雇用、教育など社会課題の根深さを実際に体験しました。

「社会起業家精神」を身につけるのは簡単ではありません。社会に出て何をしたいのか、そのために大学で何を学ぶのか。「学術研究」「ソーシャルビジネスプラン」「フィールドワーク」の三本柱で身につけてほしいと願っています。



在日アジア人女性の就労の場を創り出すため、神戸南京町で「神戸アジア食堂パルSALA」を経営している黒田尚子さん(旧姓・奥、2008年卒業)。

学術研究

あなたが関心を持ったテーマを探求します。

社会起業家精神を養うために

社会起業家には、社会の課題を見つける眼が必要です。基礎的な知識だけでなく幅広い分野への関心を日頃から鍛えておかなければなりません。そして、文献を読みこなす力が求められます。

課題を発見したら、その背景を政治、経済、法律、哲学、教育、福祉、宗教などから多角的に分析し、議論し、文章化し、提案する訓練をしなければなりません。

大学で威力を発揮する スタディ・スキルをマスター

1年生までに、欧米の伝統的な読書技術や文章作法、図書館の資料検索法をマスターし、全教科に応用がきくスタディ・スキルを体得します。

2年生では、一人ひとり興味のある文献を選び、関連資料を探し、要旨をまとめ、グループで評価しあいます。「小主題レポート」をまとめながら「学術研究」のテーマを探します。

3年生では、見つけた研究テーマに沿って関連情報を集め、分析・研究と考察を重ねて「学術研究レポート」を作成し、研究発表を行います。文献批判力を養い、学問の本質に迫る人間を育てます。全教科の教師が垣根を越えて関わり、教師と生徒は2年間持ち上がりです。



2年生では、文献ごとにグループをつくり、関連資料や背景、疑問点を整理し、報告しあいます。「小主題レポート」を書きながら、「学術研究レポート」のテーマを探します。



3年生になると、個人別にテーマを設定し、関連情報や資料を収集。参考文献をさまざまな角度から分析・研究しながら、「学術研究レポート」を作成していきます。

「学術研究」の内容

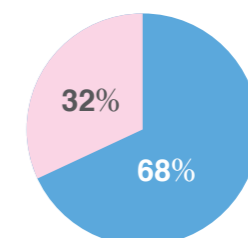
中学	読書を楽しむ初級読書と読書技術の体系を学び、「学術研究」へ発展します
高1	・欧米の読書技術と文章技術を学ぶ ・短い時間で要旨をつかむ「点検読書」や深く読み解く「分析読書」を学ぶ ・1年間かけて深く読み解きたい「小主題対象文献」を決定する
高2	・グループごとに、対象文献の「分析読書」を実践する ・要約や発表、議論を重ね、文献の分析結果を「小主題レポート」などにまとめる ・1年間取り組む「学術研究レポート」のテーマを探し、参考文献を調べる
高3	・「学術研究レポート」作成に向けて参考文献の分析読書を重ねる(「シントピカル(比較検討)読書」) ・「学術研究レポート」とその要旨を完成させる ・グループごとに代表者を選出し、全学年が参加する「学術研究」発表会でポスター発表や口頭発表を行う



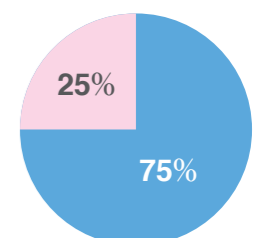
「学術研究」発表会で、「ウナギはどのようにして高級化したのか」を発表する河合陸さん。

高校3年生に聞いてみました

大学の進路選択に、「学術研究」「ビジネスプラン」「フィールドワーク」などの経験が繋がっているか?



将来、留学したり、仕事で国際的に活躍したりしたいと思うか?



グローバルリーダーとして、あらゆるシーンにおいて英語で勝負できます。



英語圏に生まれ英語圏で育ったネイティブの先生の授業を毎日受けています。

国際校の実力を持った学校として

啓明学院は国際校を名乗ってはいませんが、国際校の実力を持った学校です。帰国生が中学・高校合わせて約110名います。多数の留学生を受け入れており、毎年十数名の生徒が海外留学しています。ネイティブの英語教師も6名在籍し、英語を使う環境に恵まれています。

国際交流プログラムも盛んです。2019年夏休みには、イギリスのRoyal Holloway, University of Londonで約20日間の研修を行いました。しかし、2020年からはコロナ禍のため、フィリピン語学学校と、オンライン留学という形で英語研修とSDGsの学びを深めました。校内のPC教室(DIG)で5日間学び、最終日にはSDGsの17項目のどれか一つを選び、英語でオンラインプレゼンをやり遂げました。

「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」機会を増やす

英語は極めて論理的な言語です。文章を書くのにも、英語はパラグラフライティングを学ばなければなりません。発表するときにはプレゼンテーション技術が必要です。英語のリスニング力、パラグラフライティングの技術、プレゼンテーション能力を、学術研究や土曜講座などあらゆる機会をとらえて鍛えています。

学術研究では3年生になると、自分の「学術研究レポート」やそのアブストラクト(要旨)を英文で作成する生徒もいます。

大学で、海外で役立つ英語運用能力を身につけます。

海外での語学研修や国際交流のチャンスも

世界で活躍するリーダーには、確かな英語力に支えられたコミュニケーション能力、異なる文化や価値観を受け入れるしなやかさ、何事にも積極的に挑戦するチャレンジ精神が必要です。感受性の豊かな高校時代に、異国の生活に触れ、異文化の中で体験を積むことは、こうした力を獲得する絶好のチャンスとなります。

啓明学院では、海外の姉妹校との相互訪問、アメリカやイギリスでの研修、インドでの交流プログラムなど、国際交流の機会がいくつもあります。国際交流の中で大学や大学卒業後の進路が明確になったという声も聞きます。海外体験は一生の財産となることでしょう。

英語コンテストのレベルが高い

本校では英検2級にとどまらず、英検準1級あるいは1級を取得する生徒もいます。英語によるプレゼンテーションコンテストやディベートコンテストは、帰国生かどうかに関係なく非常にレベルが高く、いつも審査員を驚かせています。

3年生の3学期は、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語の中から一つ選び、集中講義を必修で学びます。これも大学で学ぶ準備の一つです。



高校時代の留学がきっかけでフードロスの問題に取り組み、神戸で「タベモノガタリ」を運営する竹下友里絵さん(2014年卒業)。

難問が解けた達成感、不思議さに触れる感動を成長期にたくさん経験してほしい。

数学の基礎学力を確実に身につける

これからの時代は「文系・理系の枠を超えたリベラルアーツ教育」が求められます。本校では、その学びの基盤となる「数学」の基礎学力を確実に身につけ、それらを使って問題解決できる応用力を養う教育に力を入れています。

理学博士号を持つ教員が理数教育アドバイザーに就任し、数理科学研究会を立ち上げました。数学好きの生徒のやる気を引き出し、創造的な資質を持った科学者や技術者を育てます。

科学の奥深さに目覚めてほしい

高校時代に、「なぜ地球には人間が存在するのか」「宇宙はどうしてできたのか」といった疑問に触れて、科学のおもしろさに目覚め、宇宙研究や遺伝子工学の道を歩み始めた科学者も少なくありません。

科学の最先端につながる論理的な思考法を身につけて、理系学部にどんどん進んでほしいと願っています。物理、化学、生物、地学、それぞれに専門的な深みのある授業を行い、大学教育を享受するために必要な能力や、研究者としての姿勢を養っています。



理科実験の楽しさに触れ、科学の魅力に気づく生徒もいます。

iPadを1人1台、全生徒が活用。授業も変わります。

3年間かけてICT活用能力を高める

本校では全教室にWi-Fiと電子黒板が設置されています。授業ではiPadで動画を見たり、問題演習なども行っています。また教科書の紙面だけでは理解しにくい動点の動きやグラフなどは、電子黒板を使って解説しています。

生徒自身が直面した課題を解決する手段の一つとして、プログラミングがあります。情報科では、そうした課題解決のスキルを身につけるために、プログラミング実習も実施しています。

教科の枠を越えて積極的に活用

さまざまな科目でアクティブラーニングにチャレンジしています。教科間のコラボレーションも始まっています。京都の校外学習として、英語の授業では外国人に京都を紹介するビデオやガイドブックを英語で制作。国語の授業では、京都紹介のリーフレットを日本語で作成しました。

日々の授業の取り組みで動画の編集やPower Point作成の技術も上がり、プレゼンテーションスキルもレベルアップしています。大学や社会で必要になる「情報を主体的に集め、取捨選択し、正しく発信する力」を、高校時代から磨いています。



パソコン教室のDIG。机をグループワークが可能な配置にし、共同編集作業などアクティブラーニングを促進する環境を整えました。



プログラミング実習で課題解決のスキルを学びます。

芸術教育

インスピレーションや創造力を磨き、感性と表現力を育てます。

あなたの心で感じてほしい

本校にはいつも豊かな歌声が流れ、管楽器の音色や和太鼓の力強いリズムが響いています。感受性に富んだ十代に、真なるもの、善なるもの、美なるもの、聖なるものに触れることほど、大切なことはありません。

豊かな人間理解や人間愛に触れることによって思索が深まり、さらに高い表現力が養われ、直観力やインスピレーションが磨かれます。そうして生まれた創造力は、大学で研究するときも、社会で仕事をするときも、大いに役立つことでしょう。



私学連合美術展に出品した松村菜七子さんの作品。「dignified」(左)、「王。」(右)。

人生を豊かに彩る芸術を身近に

音楽や演劇、美術や陶芸は、自分を表現する楽しさを発見させてくれます。汲めども尽きぬ感動は、あなたの感性をはぐくんでくれます。芸術をいつも身近に感じながら、きらめく自分を引き出す喜びを味わってみたいと思います。

芸術教育のために、選択授業と土曜講座により、さまざまなアプローチを用意しています。生涯にわたってあなたを支える天職や趣味に出会うことも少なくありません。

体育・スポーツ

いつでもどこでも存分に実力を発揮できる精神と体力を養います。

フェアプレーの心

啓明学院では、大切な教育の一つとしてスポーツを奨励しています。個性を生かして自分の力を発揮する喜びと、チームのために「メンバーシップとリーダーシップ」を発揮する精神を学びます。

また、勝つ喜び、負けを受けとめる勇気、フェアプレーの大切さを学ぶとともに、困難に直面しても簡単にあきらめない、へこたれない、強い気持ちを育てます。



体育祭では、日頃の鍛錬が発揮されます。

人生を豊かに生きるための体力づくり

どんな条件のもとでも力を発揮するには、基本の体づくりが欠かせません。啓明学院には、体育授業やクラブ活動を通して基礎体力を養うチャンスがあります。キャンプやフィールドワークの機会も多く、世界のどこでも順応でき、楽しく生きることができるように、心身ともにバランスのよい発達を目指しています。

保健体育の授業では、ランニングや水泳、救急技術なども学びます。

カリキュラム

週5日の必修授業と土曜講座

月曜日から金曜日まで週5日・33時間の必修授業を行います(火・木曜日は6時間)。土曜日は、講座制のカリキュラムに取り組みます。(2023年度入学生に予定しているカリキュラムです。)

	1 年 生	2 年 生	3 年 生
1	現 代 の 国 語	論 理 国 語	論 理 国 語
2			
3	言 語 文 化	古 典 探 求	古 典 探 求
4			
5	歴 史 総 合	日 本 史 探 究 / 世 界 史 探 究	地 理 総 合
6			
7			
8	数 学 I	公 共	数 学 III
9			
10	数 学 A		高 3 選 択 I
11		数 学 II	
12	物 理 基 礎		高 3 選 択 II
13			
14	化 学 基 礎	数 学 B	
15			
16	生 物 基 礎	物 理 / 化 学 / 生 物	物 理 / 化 学 / 生 物
17			
18	体 育	体 育	体 育
19			
20	音 楽 I	保 健	保 健
21			
22		英 語 コミュニケーション II	
23	英 語 コミュニケーション I		英 語 コミュニケーション III
24			
25		論 理 ・ 表 現 II	
26	論 理 ・ 表 現 I		論 理 ・ 表 現 III
27		家 庭 基 礎	
28	英 語 演 習 I		英 語 演 習 II
29	情 報 I	高 2 選 択	高 3 選 択 III
30			
31	聖 書	キ リ ス ト 教 学 I	キ リ ス ト 教 学 II
32	学 術 研 究 I	学 術 研 究 II	学 術 研 究 III
33	H R	H R	H R

※総合的な探究の時間は、学術研究をもって行います。

	チャペルアワー	土 曜 講 座	選 択 科 目
高2選択			物理 / 化学 / 生物 / 音楽 / 工芸 I / 古典特講 / 英書講読
高3選択 I			数学 C / 美術 I
高3選択 II			物理 / 化学 / 生物 / 文学国語 / 国語表現 / 日本史探究 / 世界史探究
高3選択 III			法律学 / 社会学 / 平和学 / 国際政治経済 / 英語特講 / 数学演習 / 音楽 / 美術
			高3 3学期 第2外国語集中講座 ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語

ソーシャルアントレプレナーシップ

世界中の課題にチャレンジする「社会起業家精神」にあふれたグローバルリーダーを育てます。

1 キリスト教主義

人間として大切な考え方や精神、習慣を学びます。

- ・隣人愛：自己中心から他者中心へ
- ・礼拝：聖書の言葉を通して人間としての生き方を考える
- ・平和教育：修学旅行で広島・長崎を訪問（中学）

2 中・高・大一貫教育

創立者を共有する関西学院大学と高大連携で教育・授業を展開しています。

- ・土曜講座：関西学院大学の教授が講座を担当
- ・大学図書館：啓明学院の生徒は全員利用できる
- ・第2外国語：専門の講師による6か国語の講座
- ・高大連携科目履習：関西学院大学の授業を受講でき、単位の認定もされる
- ・「ROOT」プログラム：将来国際的に活躍する科学者や技術者を発掘する教育プログラム
- ・SDGs：貧困や飢餓、不平等、気候変動など世界中の課題にチャレンジ

3 チャレンジ精神

「毎日がチャレンジだ」という気持ちを忘れずにあらゆる機会を逃がさずチャレンジしてほしい。

- ・前島キャンプ：前島でのオリエンテーションキャンプでは、チャレンジ精神や自立心を目標めさせる
- ・青島キャンプ：無人島の青島ではチャレンジ精神とチームワークの大切さを学ぶ
- ・キャンプリーダー：リーダーシップとメンバーシップを体得する
- ・遠泳：中1からの水泳特訓の成果を発揮する
- ・かけ足：毎日のかけ足鍛錬の成果を、冬の10kmマラソン大会で証明
- ・寮生活：集団生活を通して自己管理の大切さを学ぶ

4 英語運用能力

グローバルリーダーには、英語による意思表示とコミュニケーションの能力が必要です。

- ・英語検定：95%の生徒がCEFR B1レベル以上（英検2級程度）に到達
- ・「GTEC」にチャレンジ
- ・スピーチコンテスト：校外コンテストでも好成績
- ・英語キャンプ：前島キャンプで数日間英語漬け

5 スタディ・スキル（学問する技術）

欧米の伝統的な読書技術や論文作成技術を学び、学科の枠を超えたスタディ・スキルを身につけます。

- ・読書教育：中学では「読む力」「考える力」「書く力」「話す力」を鍛える
- ・学術研究：高校では全員が「学術研究レポート」を作成、大学の学びに備える
- ・情報収集能力：図書館の資料検索法をマスターする
- ・課題発見能力：自分で課題を発見し、多角的に分析する力を養う
- ・ソーシャルビジネスプラン：社会の課題を継続的に解決するための戦略を考え抜く
- ・プレゼンテーション：「人を動かす力」「発信する力」を高める
- ・ICT教育：iPadを1人1台全生徒が活用



地球温暖化を解決するためハチドリ電力を起業、CO₂ゼロの自然エネルギーのみを届ける電力小売事業を展開する小野悠希さん（2014年卒業）



留学生も多く在籍、国際色豊かな校風をはぐくんではくんでいます



チャレンジ精神に目覚める青島キャンプ



「人は何故信仰の対象をつくるのか」と題して「学術研究」発表会で発表する西山珠理さん



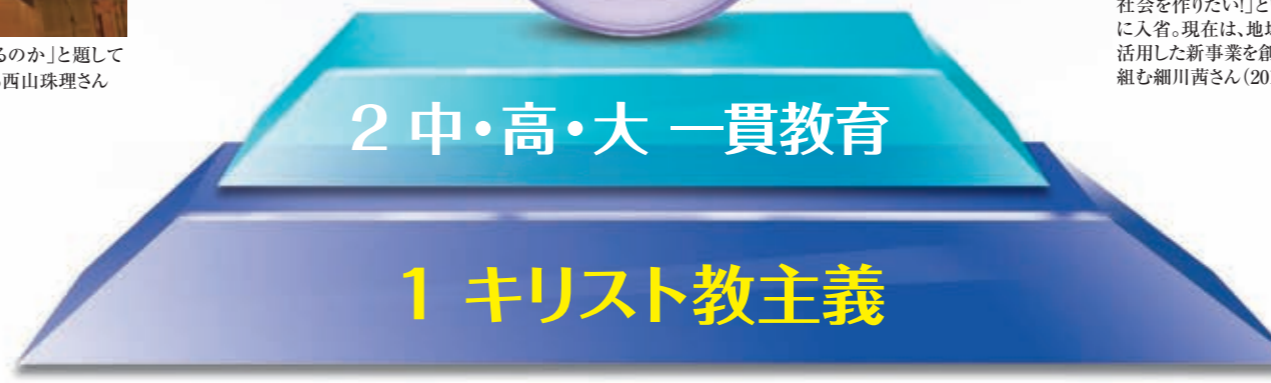
イギリス国際交流研修



啓明太鼓



「すべての地域の魅力が最大限に発揮される社会を作りたい」という思いから経済産業省に入省。現在は、地域においてデジタル技術を活用した新事業を創出する政策の立案に取り組む細川茜さん（2011年卒業）



6 国際交流

グローバルリーダーへの第一歩。海外に出かけて友達を作り、世界中の多様な人々と絆を深めています。

- ・相互訪問：中学はオーストラリアと韓国、高校はアメリカとインド
- ・海外修学旅行：高校はマレーシア、シンガポールへ
- ・留学プログラム：毎年十数名が留学
- ・帰国生：海外在留経験者が約110名在籍
- ・留学生：毎年10名程度の留学生を受け入れ
- ・イギリス国際交流研修：非英語圏の学生たちと3週間の交流研修
- ・アメリカ南メソジスト大学研修：ランバスファミリーゆかりのパーリバー・チャーチ訪問

7 自己育成能力

世界には問題が山積しています。課題を見つけ解決する力のベースになる「自学自習の習慣」を体得します。

- ・土曜講座：建学の精神にそったさまざまな講座
- ・リベラルアーツ：グローバルリーダーとなるための幅広い知識と教養
- ・クラブ活動：チャレンジ精神を体得・発揮する場
- ・トライやるウィーク：中学での社会体験の機会
- ・生活研究：足元を見つめることもグローバルリーダーの資質

8 日本文化発信力

「日本文化と歴史を語れる人になる」を合言葉に、日本文化の習熟にも力を入れています。

- ・和道教室「一隅庵」：日本文化の神髄に触れる
- ・茶室「三合庵」：本格的なお点前を学ぶ
- ・邦楽：日本の伝統楽器と「雅な心」を学ぶ
- ・書道：人格を磨き情操をはぐくむ
- ・華道：季節感を大事にする日本独特の芸術を学ぶ
- ・和太鼓：「和の心」と「たくましさ」を体得
- ・日本舞踊：形や動き、所作から日本の心を学ぶ
- ・陶芸：前島キャンプの登り窯（備前焼）で陶芸作品作り

9 ボランティア精神

社会の課題に立ち向かうには現場体験は不可欠です。人の痛みをわが事とする、真のリーダーになってほしい。

- ・ミャンマースタディーツアー：日本人医師のもとでソーシャルビジネスを体験
- ・ボランティア登録：各種団体のプログラムに登録し活動
- ・Sクラブ、インターアクトクラブとして活動
- ・海外ボランティア：マレーシアの植林キャンプなどに積極的に参加
- ・あしなが学生募金：全国募金額の1%に達したこともある

エスディーズ

SDGsも積極的に学んでいます。

啓明学院は、国連が提唱する「持続可能な開発目標」SDGsにも積極的に取り組んでいます。これまでも、先進的な取り組みをされている方々をお招きし、生徒自身が学校でできる取り組みを始めています。SDGsは、「次世代にどのような世界を引き継ぐことができるのか」という大きなチャレンジであり、今を生きる私たちに責任を問いかけるものです。SDGsに取り組むことで、生徒たちのチャレンジ精神はさらに磨かれ、よりよい世界を創ろうとする情熱は高められ、実践力は鍛えられることでしょう。

チャレンジ・プログラム

学年や学科の枠を超えた学びが、みなさんの可能性を広げます。

生涯学習の扉を開くために

月曜日～金曜日は必修授業5日制を採用しています。土曜日は、学年や教科の垣根をはずし、「愛と奉仕」という教育の理念に照らした授業を展開するために、「土曜講座」を開いています。

中学2年生からは、興味のある講座を選んで自由に受けることができます。あなたの個性や素質・才能を見だし伸ばすために、また将来の仕事や趣味として豊かに実らせるために、積極的に取り組んでください。

関西学院大学と連携した講座も

高校になると、関西学院大学の法学部やロースクールの教授による法学特別講座など、大学と連携した講座があります。また、本校卒業の大学生によるリレー講座もあり、18歳の選択に役立つことでしょう。

土曜講座は、啓明スピリットに共感する人々の応援を得て、より骨太に進化を続けています。

中学生と高校生がともに学びます

多くの講座で、中学生と高校生が一緒に学びます。中学生は高校生の学びの深さや意識の高さに影響を受け、高校生は中学生の手本となるべく努力します。お互いが刺激しあひながら伸びていきます。安定した中高一貫の理想的な姿がここにもあります。



コミュニケーション・ラボ



赤ちゃん先生から学ぶライフプラン「親になる準備」



書道に親しむ

- ✂ 情報の風景を変えよう!
- ✂ 法律・政治を学ぶ
- ✂ 動画による情報発信技術の習得
- ✂ 「伝える文章」を創作する
- ✂ PLACE
- ✂ 東洋医学の養生法
- ✂ 中国語を言ってみよう!
- ✂ 中国語にチャレンジしてみよう!
- ✂ 韓国語入門
- ✂ 韓国語基礎
- ✂ 手話講座入門
- ✂ 着付けとマナー講座
- ✂ 絵本講座
- ✂ 話のテクニック～自己表現メソッド～
- ✂ 赤ちゃん先生から学ぶライフプラン「親になる準備」
- ✂ 遊びから学ぶ! 即興コミュニケーション
- ✂ NEXUS～社会でほんとうに必要な力～
- ✂ 建築を知ろう
- ✂ 実用 iPad (初級)
- ✂ 実用 iPad (中級)
- ✂ アドバンスド・コンピューティング
- ✂ Advanced English
- ✂ 科学実験 (中学)
- ✂ 科学実験 (高校)
- ✂ 「簿記」を学ぼう
- ✂ Creative home ec.
- ✂ ヨガ教室
- ✂ トレーニング実践
- ✂ 中国武術 太極拳
- ✂ 動けるカラダづくり
- ✂ Basic English
- ✂ Basic Study
- ✂ 日本文化の伝統芸術より日本音楽を学ぶ
- ✂ 啓明太鼓
- ✂ ハンドベル・クワニア講座
- ✂ たのしい音楽
- ✂ アクセサリーを作ろう
- ✂ 礼拝奏楽
- ✂ 書道に親しむ
- ✂ フラワーアレンジメント
- ✂ 華道に親しむ
- ✂ 初めての筆と絵手紙
- ✂ セーリング
- ✂ はじめてのゴルフ



法律・政治を学ぶ(関西学院大学法学部 山田直子教授)



科学実験



セーリング

中学生の土曜講座

(2022年度実施講座)

中学1年生の講座(必修)

✂ コミュニケーション・ラボ

いろいろな人とコミュニケーションをとる方法を学びます。

✂ 情報基礎

情報をやりとりするときのルールやマナーを学びます。

✂ 数学に親しむⅠ

算数から数学へ。論理的な思考力も鍛えます。

中学2年生の講座(必修)

✂ 数学に親しむⅡ

✂ 知ろう 考えよう SDGs

中学3年生の講座(必修)

✂ General Quest

✂ ひょうごスタートアップアカデミー

大自然の中で、新たな友情をはぐくみ、 建学の精神を学びます。

牛窓沖に浮かぶ啓明学院前島キャンプ

岡山県瀬戸内市牛窓町の沖に浮かぶ前島には、啓明学院前島キャンプがあります。入学するとすぐに、2泊3日のオリエンテーションキャンプを体験します。中学生にはメチャビーが待っています。泥だらけになりながら、友と支えあう啓明精神を学びます。高校からの入学生は、中学からの進学生と一緒に生活して、新たな友情をはぐくみます。

大自然の中で共同生活を体験します

イギリスのパブリックスクールは全寮制です。両親のもとを離れ、厳しい規律のもとで共同生活を体験します。キャンプはこうした寮生活に変わるものです。大自然の中で野外学習と合宿生活を体験し、教職員と生徒が協働で学びます。チャレンジ精神をはじめとする啓明プログラムはキャンプ教育から始まります。

前島のとなりには、関西学院の無人島・青島があります。青島では、中学2年生の夏休みに5泊6日のサバイバルキャンプを行います。草を刈ったり道をつけたりするワークが行われ、「自分のことは自分です」という自立の基本と、「どんなときにも人間らしく生きる」というサバイバル精神を学びます。

キャンプの醍醐味に目覚め、リーダーにチャレンジ

中学のオリエンテーションキャンプには、中学3年生が班つきリーダーとして、高校3年生はクラスつきリーダーとして参加します。高校のオリエンテーションキャンプと青島キャンプには、高校3年生が班つきリーダーとして参加します。

班つきリーダーの役割は重要です。下級生の安全と健康に眼を配り、取り組む姿勢の模範を示します。リーダーは自己中心では務まりません。班員一人ひとりの個性の把握から始まります。自己中心から他者中心へ、心の中で質的転換が起こり「リーダーシップとは何か」に目覚めるのです。班員も、共同体の一員として自分の役割を果たすことの大切さに気づき、よきメンバーシップをはぐくんでいくのです。



厳かな雰囲気
満たされる前島での
カウシルファイヤー。燃える
火を見つめながら、勉強やクラブ活動
について、一人ひとり決意表明を行います。

前島キャンプ (中学1年生・高校1年生 オリエンテーションキャンプ)



祈りの丘での朝拝、すがすがしい一日の始まりです。



備前焼の本格作品が生まれます。



満開の桜の下、リーダーに励まされ、マラソンを頑張る中学1年生。



班ごとに料理の出来栄を競う、楽しい屋台村。

青島キャンプ (中学2年生の夏休み)



1kmの遠泳。みんながんばって泳ぎきります。



テントでの楽しい自給自足の生活。



カッターでの青島一周も自分たちの力で。

クラブ活動

心のふれあい、感動のシーン。 生涯の友との出会いがあります。

加入率が高いクラブ活動

中学・高校時代を思い切り楽しめる啓明学院では、文化部・運動部を問わず、ほとんどの生徒がクラブ活動に打ち込んでいます。

そして、友情、心の絆、チームワーク、協調性、チャレンジ精神、自立心、やり遂げる強い心、自分への厳しさ、鍛錬する意志 —— クラブ活動のなかで人生に欠かせない、大切なものはぐんできています。

人工芝グラウンドで快適なクラブ活動

全天候型のグラウンドにはロングパイル人工芝を使用。試合観戦用にスタンドも設けられ、サッカー、アメリカンフットボールの公式戦にも使われています。テニスコートが6面あり、ソフトテニス、テニスの公式戦にも使われています。陸上競技のタータン100m走路も3レーン整備されています。ナイター設備もあり、日没後も練習や試合ができるようになっています。

2022年度 活動中のクラブ

- | | | | | | |
|--|---|--|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 文芸部 美術部 演劇部 家庭部 | <ul style="list-style-type: none"> 伝統文化部
(茶道・華道・書道・邦楽) ESS部 軽音楽部 吹奏楽部 | <ul style="list-style-type: none"> 写真研究部 放送部 コーラス部 社会部同好会 数理科学研究会 | <ul style="list-style-type: none"> バレーボール部 バスケットボール部 ソフトテニス部 剣道部 ダンス部 | <ul style="list-style-type: none"> 陸上競技部 バドミントン部 サッカー部 テニス部 体操競技部 | <ul style="list-style-type: none"> アメリカン(タッチ)フットボール部 チアリーディング部 水泳部 |
|--|---|--|--|--|---|

※中高男女によっては、入部のできないクラブもあります。



放送部 2020兵庫大会記念高校放送コンテストのラジオドキュメント部門で準優勝し、NHK公式HPにも作品が掲載された。ほぼ毎日お昼の放送を続ける他、区民ランニング大会の司会を務めるなど、学内・外での貢献をめざす。



数理科学研究会 世界最先端のゲーム理論に挑戦。世界各国の学者らが集う国際学会の審査を通過し、オンラインで研究成果を発表した。ハイレベルな学会での、中高生の発表は専門家も驚く快挙。



演劇部 キャストだけではなく脚本・大道具など、みんなで協力して舞台を作っている。



伝統文化部・邦楽 編曲や作曲にもチャレンジし、神戸地区大会や県コンクールでも素晴らしい演奏をしている。



アメリカンフットボール部 関西大会 出場8回(優勝1回)
全国大会 出場11回(ベスト4:1回)に輝く。



サッカー部 高円宮杯U-18神戸リーグ1部で活躍。昨年度は県リーグ昇格戦に進出。



ソフトテニス部 2022年度兵庫県高等学校総合体育大会個人・団体準優勝。2022年度インターハイ個人出場(2年連続)。1998年度から近畿大会25年連続出場。



チアリーディング部 中学・高校あわせて100名を超える部員が活躍。



ダンス部 高校から入部可能。3年生を中心に生徒が自主的に活動している。



テニス部 夏は4年連続、冬は3年連続で近畿中学校テニス大会団体に出場。



軽音楽部 高校だけの部活動で、現在50名を超える部員がバンドを組み、ライブコンサートに向けて取り組んでいる。



吹奏楽部 毎年、神戸文化ホールで定期演奏会を開催。

学院内外でさまざまにチャレンジする生徒を応援しています。

1年間の活動を生徒自身の手でまとめて発行

啓明学院には「文華編集委員会」があります。『文華』は、中学2年生から高校3年生までの生徒が中心になって、啓明生の1年間の活動をまとめて発刊している「生徒会誌」です。「みんなの文華」「記録性のある文華」「読みやすい文華」の3つを制作理念として、1年間かけてプロの編集者の指導のもと編集力・取材力を磨いています。「読書教育」の学びがすすみまで生かされ、「生きた学校案内」となっています。



『文華』57号の表紙。歴代編集長を囲んで文華編集委員会のメンバーたち。

「ROOT」プログラムに挑戦

三井愛理さんは、国際的に活躍する若手研究者を発掘する「ROOT」プログラムにチャレンジし、全国から受講生が集う「科学技術振興機構」の研究発表会で最優秀の文部科学大臣賞に輝きました。

テーマは「プラナリアの体長の測定方法の確立」。「2年間、神戸大学でのプログラムに参加しプラナリアの研究を続けるうち、その現象の原因や真実を突き止めるのが好きなことに気がきました。進路も生命医化学科から生命科学科に変え、生物を研究するにも総合的な知識が必要なことに気がきました」と語る三井さん。これも学術研究の成果です。



文部科学大臣賞に輝いた三井愛理さん(2020年卒業)。

日本文化の神髄に触れる

日本文化の高い精神性は、世界で高く評価されています。世界でリーダーとして活躍するためにも、日本文化の神髄に触れておくことが大切です。啓明には、日本庭園や茶室まで備えた本格的な和道教室があります。国際交流が盛んで世界にはばたく生徒が多い、本校ならではの学びの場となっています。



日本舞踊の発表会。お師匠さんに卒業生もいます。

「ベストリーダー」を表彰しています

啓明学院の学びの核となる読書教育と学術研究。それを支える読書は、本校のスクールライフの基本であり、学びの土台です。「パルモアライブラリー」と名付けられた図書館は、本校の学びの中心といえます。

パルモアライブラリーをすべての生徒により多く活用してもらおうと、図書貸出冊数の多い生徒を「ベストリーダー」として表彰しています。さらに幅広い知識を自分のものにしてもらいたいと願っています。



表彰されたベストリーダーたち、貸出冊数が300冊を超える生徒もいます。

中学生のインターンシップ「トライやるウィーク」

中学3年生は、私学では兵庫県で唯一、「トライやるウィーク」にも取り組みます。生徒一人ひとりの気持ちを大切に、何をしたいのか、何を学びたいのか、時間をかけて真剣に考え、保護者と相談しながら行き先を決めています。

ボランティア活動のリーダーに

本校生徒会は、国際ソロプチミスト六甲からSクラブの認証を受け、神戸西ロータリークラブからインターアクトクラブとして認められています。西アフリカ・ブルキナファソで活動しているシスター黒田を招いてお話を聞きました。マレーシアの植林キャンプなど海外ボランティアに、夏休みを利用して参加する生徒もいます。世界のどこにいても活躍できる知識と知恵と志を持ったリーダーが育つことを願っています。

学院外の活動も応援

学院外のクラブチームや団体に所属して活躍する生徒も多々います。ピアノやバレエなどの音楽・芸術系、英会話や書道などの教養・文科系、テニスや水泳、空手などのスポーツ・武道系と、多様性にあふれています。4年に1回しか開催されない夏期デフリンピック競技大会に、ろう者サッカーの女子日本代表として派遣され、高校1年で世界のピッチに立った生徒もいます。

兵庫県統計グラフコンクールに毎年参加

兵庫県では自分の身の周りやニュースなどから関心を持ったことを、自分で観察したり調べたりして、グラフを使って表現した作品を募集しています。啓明学院は生徒たちの作品を毎年出品しています。文系と理系の垣根を越える文理横断の学びの延長上にあるコンクール。入賞作品に選ばれることも多く、学校奨励賞を毎年受賞しています。



兵庫県統計グラフコンクールで入選した「世界まる見え 18歳選挙権」を持つ女子生徒。



スペイン・バルセロナのヨット世界選手権に日本代表メンバーとして出場した木内恵美子さん。2022年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会に出場。



第52回兵庫県高等学校新人大会スキー競技会のスラロームで優勝し、第71回全国高等学校スキー大会のジャイアントスラロームに出場した高見優志さん。スキーを始めたのは3歳、菅平(長野県)やハチ高原で腕を磨いています。



「聴覚障害者のデフサッカー・デフフットサルを通して、聴者との懸け橋になる」ことを夢に、デフリンピックやワールドカップなど世界を舞台に活躍する宮田夏美さん(2016年卒業)。



国連少年少女大使に選ばれ、国連本部で世界中から招かれた中学生の総会に出席した著本紗葉さん。高校生になってこの夏再びチャレンジ。

あなたを輝かせるチャレンジのステージがたくさん待っています。



入学式



前島オリエンテーションキャンプ



中学 青島キャンプ



合唱コンクール



中学 マラソン大会 (HAT神戸)



クリスマスイルミネーション

中学校



- 入学式
- 前島オリエンテーション キャンプ(中一)
- (Federick Irwin Anglican School (オーストラリア) 来校)
- 健康診断
- 生徒総会
- 始業式
- 保護者会
- 中間考査
- 体育祭
- クラブ紹介(中一)
- Let's go to the Stadium(中一)
- 保護者会
- 育友会総会
- オープンスクール
- 関西学院大学図書館見学(中一)
- トライやるウィーク(中3)
- 海洋冒険キャンプ
- 終業式
- 救急法講習会(中2)
- 期末考査
- (イザベル中学校(韓国)訪問)
- 青島キャンプ(中2)
- 修学旅行(中3)
- Youth English Adventure(中一)
- 課題考査
- 始業式
- 保護者会
- 中間考査
- 創立記念日
- 学校説明会
- 校外学習(中一・中2)
- 待降節礼拝
- 合唱コンクール
- 学校説明会
- (イザベル中学校(韓国) 来校)
- 宗教週間
- 明星祭
- 終業式
- クリスマス礼拝
- いのちの授業(中一)
- 期末考査
- 生徒会役員選挙
- 芸術鑑賞
- 課題考査
- 入学試験
- 震災追悼礼拝
- 保護者会
- 書初め
- 始業式
- 中学卒業面接(中3)
- 学年末考査(中3)
- マラソン大会
- 英語スピーチコンテスト
- 卒業式
- 高校入学面接(中3)
- 学年末考査(中一・中二)
- (Federick Irwin Anglican School (オーストラリア) 訪問)

高等学校



- 入学式
- 前島オリエンテーションキャンプ(高一)
- (University Preparatory Academy(アメリカ) 来校)
- 健康診断
- 生徒総会
- 始業式
- 保護者会(高一・高二)
- 育友会総会
- 保護者生徒進路説明会(高3)
- クラブ紹介(高一)
- (マレーシア・シンガポール) 修学旅行(高二)
- 卒業生による関西学院大学各学部説明会
- 「シネスプラン」コンテスト」審査会
- 学校説明会
- 始業式
- (ミャンマー・スタディーツアー)
- 関西学院大学オープンキャンパス
- オープンハイスクール
- サマープロジェクト
- イギリス国際交流研修
- 海洋冒険キャンプ
- 終業式
- 関西学院大学図書館見学(高一)
- 期末考査
- (インド交流訪問プログラム)
- 合唱コンクール(高一・高二)
- 関西学院大学各学部説明会(高3)
- 学校説明会
- (高一・高二)
- 保護者・生徒カリキュラム説明会
- 関西学院大学各学部訪問(高二)
- 中間考査
- 創立記念日
- 校外学習(高一・高3)
- 学年末考査(高3)
- 学校説明会
- 待降節礼拝
- 宗教週間
- 明星祭
- 学術研究発表会
- 生徒会役員選挙
- 芸術鑑賞
- 関西学院大学継続校推薦入試
- 震災追悼礼拝
- 第2外国語授業(高3)
- 始業式
- デジャラートパブリックスクール訪問
- インターナショナル訪問
- ブルベールスクール
- インド交流プログラム
- 関西学院大学継続校推薦者決定
- 終業式
- クリスマス礼拝
- 「シネスプラン」コンテスト」発表会
- 高校卒業面接(高3)
- 期末考査(高一・高二)
- 卒業式
- 保護者会(高一・高二)
- デイベートコンテスト(高二)
- プレゼンテーションコンテスト(高一)
- 卒業記念礼拝(高3)
- 卒業記念講演(高3)
- 入学試験
- 卒業式
- 学年末考査
- (University Preparatory Academy(アメリカ) 訪問)



体育祭



イギリス国際交流研修



明星祭



ディベート&プレゼンテーションコンテスト



クリスマス・キャロリング (リファール横尾)



クリスマス礼拝

*年間行事は予定につき、変更される場合があります。



帰国生への期待

先生と同級生、みんなであなただをサポート。

帰国生の潜在力は多様性として輝く

啓明学院は国際校を名乗ってはいませんが、帰国生が中学・高校合わせて約110名在籍しています。全校生徒の約1割になります。啓明学院の伝統を築いていく上でも、帰国生が大きな財産になると私たちは考えています。

帰国生のコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の高さ、異質なものへの寛容さ、積極性を生む好奇心など、帰国生ならではの潜在的な力に期待しています。

帰国生の多様な体験や個性は、国内生にも大きな刺激を与えています。学校全体で、新しい学びへのチャレンジや学校文化の再構築に役立っています。

一人も見落とさないために

帰国生入試には校長による事前インタビューがあります。啓明学院と受験生本人、家庭の価値観を共有するために必要なもので、受験生の自己アピール、プレゼンテーションの場でもあります。本人の良いところを引き出そうとする面接で、振り落とすために行うものではありません。「人間は偏差値で測れるものではない」という学院の基本的な考え方が息づいています。

そのほか、基礎学力が定着しているか見るために国語・算数(数学・英語)のテストを行い、その生徒の学びや経験の固有性を知るために作文や英語面接を行います。本人の海外体験の質が問われるのです。



帰国生を中心としたアドバンスイングリッシュの授業。



英語を母国語とする先生とも毎日触れ合います。

啓明寮

「祈り」「自立」「共生」を胸に寮生活も充実。

自分にしてもらいたいことは、ほかの人にもそのようにしなさい マタイによる福音書7:12

啓明寮の朝は午前7時の祈りと朝食から始まります。クラブ活動が終わって寮に帰ると、午後7時から夕食、入浴して、学習室に集まり自習。10時から晩祷のあと自室へ引き上げます。

親元を離れて、毎日のルールを含め自分たちで共同生活を作り上げていく寄宿舎。これも大切な教育の実践の場です。自立の心を育てながら、集団生活の中で自分を律していくことの大切さを知り、大きく成長していきます。

寮生たちは、最初は世話をされる立場ですが、1年後には上級生として世話をされる立場へ移行していきます。その過程で「愛」と「感謝」に目覚め、人を助ける喜びや弱い者を守る強い気持ちを育んでいきます。やがて後輩を導くリーダーとなり、他者を思いやる「心の力」を身につけていきます。

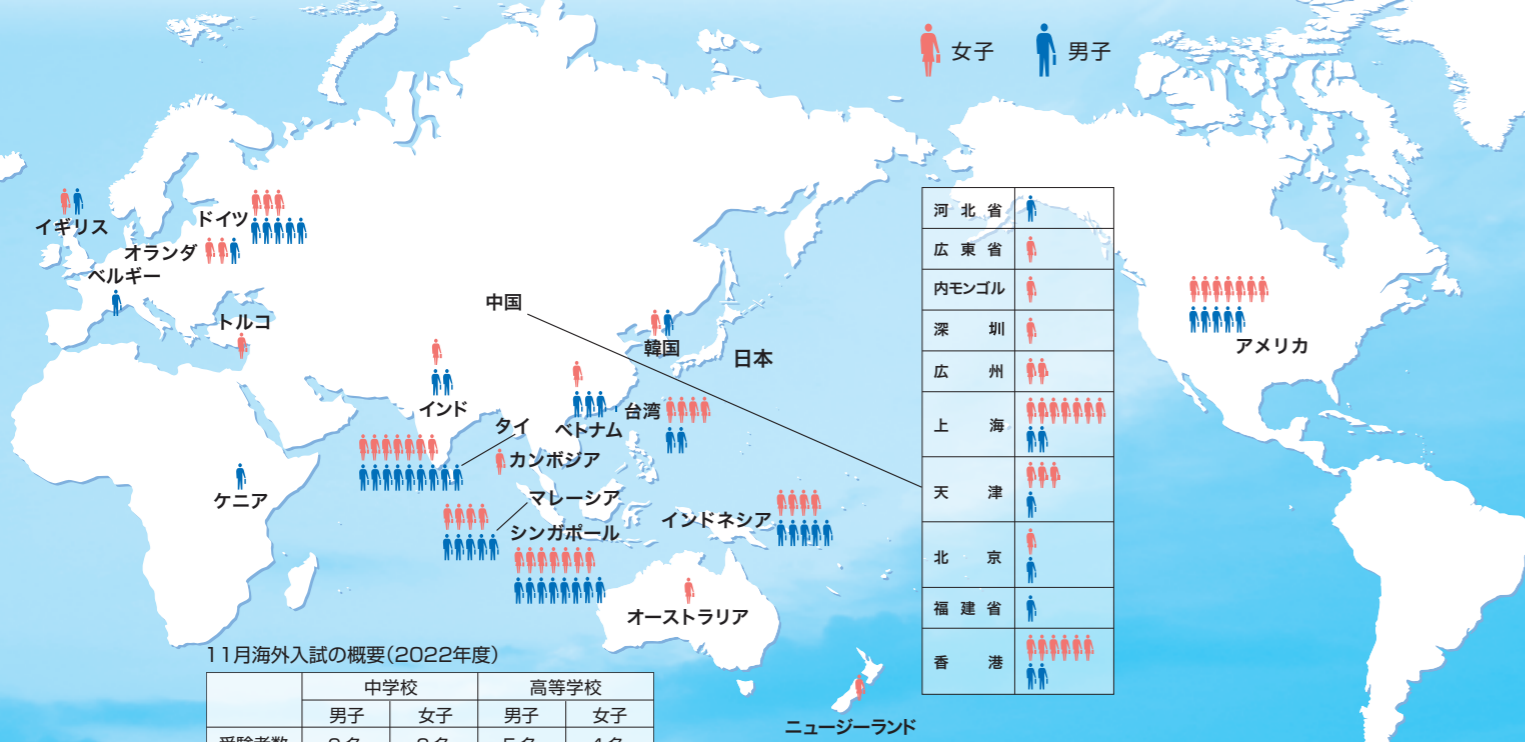


2012年の第1棟に続き、2014年に第2棟が完成しました。

寮生全員で誕生日のお祝いをしたり、花火を楽しんだり、小さな寮ならではの喜びや気配りも大家族のように味わっています。

全室個室で、どの部屋にもトイレと洗面所があります。自分自身での清掃・清潔が求められ、自己管理の大切さを学びます。帰国生だけでなく、啓明学院で学びたいと願う国内生の入寮も受け付けています。

海外在留経験者分布図

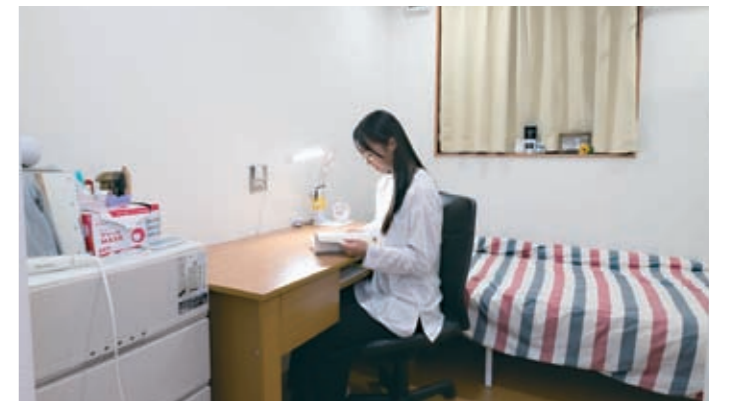


11月海外入試の概要(2022年度)

	中学校		高等学校	
	男子	女子	男子	女子
受験者数	0名	2名	5名	4名
合格者数	0名	2名	5名	2名



寮監を中心に助け合う寮生たち。



自室に帰っての学習は集中力が高まります。



「学習室での毎日の勉強が成績アップにつながった」という声も。



全室個室でどの部屋にもトイレがあります。掃除・整頓は各人の責任です。



本山 遥
2018年卒業
関西学院大学 商学部卒業
フジアーノ岡山 26番

私を救った聖書の言葉

私は現在フジアーノ岡山というJリーグのチームで、プロサッカー選手としてプレーしています。私がプロサッカー選手になるまでの道のりで最もうまくいかなかったのが、高校での3年間でした。当時はヴィッセル神戸の育成組織に所属していましたが、最終学年になっても試合に出られない日々を多く過ごしたからです。

啓明学院は「チャレンジ精神」を大切にしている高校です。私がかうまくいかなかった要因の一つがこのチャレンジ精神に欠けていたことです。ミスを恐れ消極的なプレーに終始し、自分の得意なことすら得意ではなくなっていき、そんな悪循環に陥っていました。私がこの悪循環から抜け出したことの一つに、啓明学院での学びがありました。

特に私は聖書の言葉に助けられました。啓明学院では毎日礼拝の時間があり、聖書の言葉に触れる機会が非常に多くあります。私はローマの信徒への手紙5章3節～4節「そればかりでなく、苦難をも誇りとします。わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ」という言葉に出会い、この考えを大切にしていこううちに少しずつ悪循環から抜け出していき、試合に出場できるようになっていきました。

その後の大学生活やプロとなった今でもこの言葉はととても大切にしています。大学時代に腰を怪我して長期の離脱となってしまった時も、この苦難は自分を成長させてくれるものだと捉え、その期間に自分をもう一度鍛え直すことができました。これからも多くの苦難にぶつかるとは思いますが、どんな時もこの言葉を忘れず生きていきたいと思っています。

啓明学院には本当に多くの学びがあり、何気ない日常にも自分が成長できるチャンスが転がっています。そのチャンスを拾うかどうかは自分次第です。誰にでもうまくいかないときはあります。部活や勉強、人間関係、進路のことなど誰もが悩み苦しむと思いますが、啓明学院で得られる何かを解決してくれるはずですよ。だから毎日を大切に何気ない何かを見逃さないように、啓明学院での日々を一杯チャレンジしてください。



石原 華
2021年卒業
関西学院大学 社会学部

啓明学院の門をたたいてください

今、啓明学院の門を目の前にしたあなたに、卒業生である私が門をたたいた先の景色を少しお見せしようと思います。放課後の教室を覗いてみると、生徒が教室で勉強を教え合っている様子を見ることができます。グラウンドからは掛け声が聞こえてきます。

啓明学院は個性を認め合い、助け合い、切磋琢磨しながら各々が輝ける場所です。そのため、啓明学院が大切にしているチャレンジも生徒によって異なります。それぞれのタレントによって、輝けるところが異なるからです。私は中学次に10 kmのマラソン大会で入賞するため、毎日の駆け足に力を入れました。結果、メダルを掴み取ったことは今でも自信に繋がっています。高校次には学年問わず仲間を集め、楽器を全校生徒の前で披露することに

毎年挑戦しました。用意されていなくても、やってみようと思ったことは自分でどんどん切り開いていけばいいのです。全てがかうまくいったわけではありませんが、失敗から学ぶことは多く、私の人生の財産になったと自信を持って言えます。

私は現在、関西学院大学において学部の学びだけでなく、ハンズオン・ラーニングプログラムやカナダへの留学など、多くの学びを得ています。「勉強させられる」のではなく、心から「学ぶことが楽しい」と、啓明学院で思えたことが私の人生を豊かにしていると日々感じています。教科書にとらわれないリベラルアーツ教育は私の好奇心を刺激し、様々な国際交流プログラムは私を世界へと導いてくれました。また、論文作成やICT教育を十分に受けたことが大学で躊躇せず学べている理由のひとつです。それぞれが自分のやりたいことを見つけ、貪欲にチャレンジしていく。それを大きな愛で受け止め、応援してくれる先生や友人がいます。あなたが決めた道を、誰かが邪魔することはありません。私は啓明学院で共に泣き、共に喜ぶ生涯の仲間を得ました。これからの人生の基盤となる貴重な学生時代。自分の足で立ち、自分の頭で「どう生きるのか」を考え選択していく時期に、啓明学院で過ごせたことは私にとって非常に大きな意味を持っています。まずは啓明学院の門をたたいてみてください。門の先には多くの可能性が広がっています。



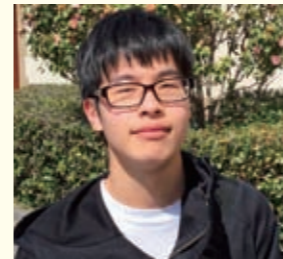
渡邊 真珠
2021年卒業
Brandeis University

身についた思考力と根性

私は大学に入学する前に学部が未定だったため、一回生の時にいくつかの分野の授業を試して、自分の興味ある科目を決めることにしました。そのため、私は1年の間に国際関係、生物、人類学、プログラミングと数学を取りました。それらの科目を勉強するうちに啓明学院で身についた思考力と根性の重要性を改めて知りました。高校までの勉強と違って、大学での勉強はさらに理解力、分析力と論述力が試されます。啓明学院はそれらの能力を気づかない間に強く磨いてくれました。初めてアメリカの大学に入って、私は挫折感を味わうことが何回もありましたが、やはり諦めたことはありませんでした。私はその理由が中学3年間の駆け足と啓明マラソンだと思います。私はどんな困難にあっても、「あと少し」と思えたら続けることができます。それが実は啓明学院で身についたものなのです。

この1年の間、私は啓明学院でいつも強調されていたChance, Change, Challengeを忘れたことはありません。私は今学期の間に、ハーバード大学とカリフォルニア大学の模擬国連の弁論に参加しました。そして、奉仕する精神も常に心に留めて、障害を持つ子どもを支える学校ボランティア組織の一員になりました。また、大学の留学生向けのオリエンテーションリーダーを担当しています。私は勇気を持って、積極的にチャンスをつかんで、チャレンジをして、自分の生き方を見つけたいと思います。

私はいつも自分が幸運に恵まれている人間だと思っています。家族と啓明学院の先生から沢山の支持をいただき、私はアメリカに留学することができました。そして、大学の友達や寮のルームメイトから影響を受けて、今まで考えたこともない学科を勉強することができました。さらに、私は色々な国から来た、様々なバックグラウンドを持つ優秀な人達と交わり、より広い世界と多様な可能性や生き方を知って、夢を持つ大切さを心から感じました。私は感謝の気持ちと自分の夢を常に持ち続けながら、新たな目標と未知な未来へ向かって歩いていきます。



深川 颯斗
2021年卒業
関西学院大学 経済学部

チャレンジ精神を育むのに最適な環境

啓明学院は「チャレンジ精神」をととても大切にしている学校です。僕自身も啓明学院で過ごした3年間で様々なチャレンジをしてきました。その中で最も自己の成長に繋がったのは、各種委員会活動です。生徒会役員会や文化祭実行委員会など複数の委員会に所属し、校則の変更や新たなイベントの作成などのチャレンジをしました。特に高校3年生のときは新型コロナウイルスの影響で多くのことが例年通りにはできなくなってしまい、コロナ禍でもできる学校行事を一から考えることになりました。なかなか企画が通らず、何度も企画書を書き直したことを覚えています。当時はとても大変でしたがそれらの経験は大学生になった今でも確実に生かされていると思います。

同じ目標を持って助け合うことができる仲間たちや生徒のチャレンジの後押ししてくれる先生方がいてくれたので、コロナ禍でも文化祭を実現できました。これは啓明学院だからこそできたことだと思っています。啓明学院ではチャレンジしようとする姿勢を笑われたり、否定されたりすることはありません。先生も生徒も常にチャレンジする人の味方でいてくれます。

大学は高校までと違って自分からやることを見つけなければなりません。受ける授業を自分で決めることに始まり、部活やサークルも自分から話を聞きに行く必要があります。大学で行われる資格のテストなども自分で調べる必要があります。僕は一回生の間に自分で調べてNPO法人にインターンに行きました。正直、一回生でインターンというのは早い気がしましたが、参加するかとても悩みました。しかし、啓明学院で学んだチャレンジ精神を思い出し、思い切って参加することを決めました。結果として、インターンに参加することで多くの経験を得ることができたので参加してよかったと思っています。興味があっても挑戦するか悩んでしまうことはよくあることです。しかし、そこで一歩踏み出すことがとても大事です。啓明学院はそのようなチャレンジ精神を育むのに最適な環境だったと思います。



千原 寧々
2022年卒業
国際基督教大学 教養学部
アーツサイエンス学科

小さな幸せに気づく力を学んだ

私は啓明学院で「感謝」の大切さを学びました。きっかけは中学2年の青島キャンプです。このキャンプは、便利な日常生活から離れて日常の有難みを知ることが目的です。自力で火を起し、1分間だけのシャワーを浴びるなど、すべてが新鮮で興味深いものでした。振り返ると、中学2年の若さと元気で乗り越えられたのだと思います。楽しいと思う反面、毎日こんな風に生活している人もいるのかもしれないと思い、複雑な気持ちになったことを覚えています。

私が感謝の気持ちを発揮するのは普段の生活です。朝、何事もなく起きられたこと、おいしいご飯が食べられること、啓明学院で6年間を過ごせたこと、日本に生まれたこと……。日常の些細なことに感謝できる広い心を持つと、今私たちが置かれている環境がいかに幸せであるかが見えてきます。

もう一つは、「私は恵まれているな、幸せだな」と声に出すことです。ないものねだりする狭い考え方より、日常の小さな幸せを見つけ出そうとすると、毎日沢山のものに守られて生活していることに気づきます。近年ではコロナ禍で学校行事の中止や変更が相次ぎました。「コロナのせいで何もできなくなってしまった」ではなく、今だからこそできることを模索し、「変えられないこと」ではなく「変えられること」に焦点を当ててみる。このような前向きな考え方も啓明学院で学んだことの一つです。

啓明学院ではチャレンジの場が多く設けられています。先生方もチャレンジという言葉をよく使います。私は今になってその理由が分かった気がします。チャレンジすることがいかに魅力的な行動であるか、チャレンジすると必ず得られるものがあることを知ったからです。私は今、自分と異なる人たちと関わるために安全地帯から抜け出し、東京という新たな場所で学びを深めています。私も皆さんと同じくチャレンジの真ただ中です。沢山のチャレンジの機会が与えられる啓明学院で、感謝の心を持ちながら積極的にチャレンジし、学び続ける、そんな学生生活を送ってほしいと思っています。



碓武 慶之
2022年卒業
関西学院大学 商学部

挑戦なき成長はない

私の高校生活は常にコロナウイルスの影響と共にありました。文化祭や体育祭などの学校行事はいつも通り行えず、楽しみにしていた修学旅行もなくなりました。しかし、卒業して改めて高校生活を振り返ると、確かにコロナウイルスの影響により悲しい思いもしましたが、有意義な時間を過ごすことができたことと断言することができます。それは私たちが挑戦する大切さを啓明学院で学び、実行してきたからです。多くの啓明生が啓明学院の特徴を聞かれたとき、チャレンジを大切にしている学校だと答えます。私自身も啓明学院が大切にしている礼拝で、自分を成長させるには聖書の言葉にあるように広い門ではなく狭い門を選ぶ、つまり、楽な道のりではなく辛く険しい道のりを歩むことが大切だと学ばせてもらいました。

私にとって一番の挑戦は、アメリカンフットボール部で主将を務めることでした。アメリカンフットボール部は毎年日本一を目標に掲げ、70人を超える部員がいます。その大きな組織をまとめる責任を担うことはとても覚悟のいることでした。私の覚悟の背中を押してくれたのが、啓明学院で学んだチャレンジ精神と狭い門を選ぶということでした。主将を務めた1年間は本当に辛く険しいものでしたが、挑戦してよかったと最後には心から思えました。大きな組織を運営していく方法や、信頼関係を築くことの大切さを学び、常に部員の手本であろうと勉学にも励むことができました。結果として、日本一になることは叶いませんでしたが、兵庫県優勝、関西2位という結果を残せたことは大きな自信となっています。

私はこの経験から、迷ったときは必ず楽な道ではなく険しい道のりを選ぶことを大切にしようと決めています。挑戦せず、楽な道つまり広い門を選べば、挫折することも辛い思いをすることもなく、楽な生活を送ることができるでしょう。しかし、そこには成長のチャンスはなく、高校生活という貴重な時間を無駄にしまうかもしれません。

あつという間に過ぎる大切な高校3年間で価値あるものにするために、多くの成長の場が設けられている啓明学院で、皆さんが狭い門を選び、チャンスを掴み取ることを願っています。

学校と家庭の信頼関係を深めています。

啓明学院の教育は、生徒・教師・家庭の三者の協力と信頼関係の上に成り立っています。

育友会は学期ごとの集会のほか、バザーや体育祭、文化祭、キャンプなどの学校行事にも積極的にご協力いただいています。「聖書に親しむ会」、「ガーデニング委員会」、「国際交流委員会」、保護者コーラス「カント・フェリーチェ」などの活動も盛んです。

同窓会の金星会も、母校の発展に期待し、熱い視線を注いでこられました。後輩たちのために土曜講座の講師を引き受けたり、募金活動も推進。毎年多くの金銭的な援助とともに、生徒の諸活動をご支援いただいています。

卒業生の保護者の集い「校友会」も発足しました。保護者同士にも連帯感、親近感、同窓意識が生まれ、啓明学院の教育を将来にわたり物心両面でサポートしていただいています。



卒業生の保護者も参加される「カント・フェリーチェ」。10周年記念コンサートにて

105歳で天に召された日野原重明先生は「啓明のことも母校のように思っている」と語られています。



啓明学院での記念講演で「勇気ある行動を」と啓明生に呼びかける日野原先生

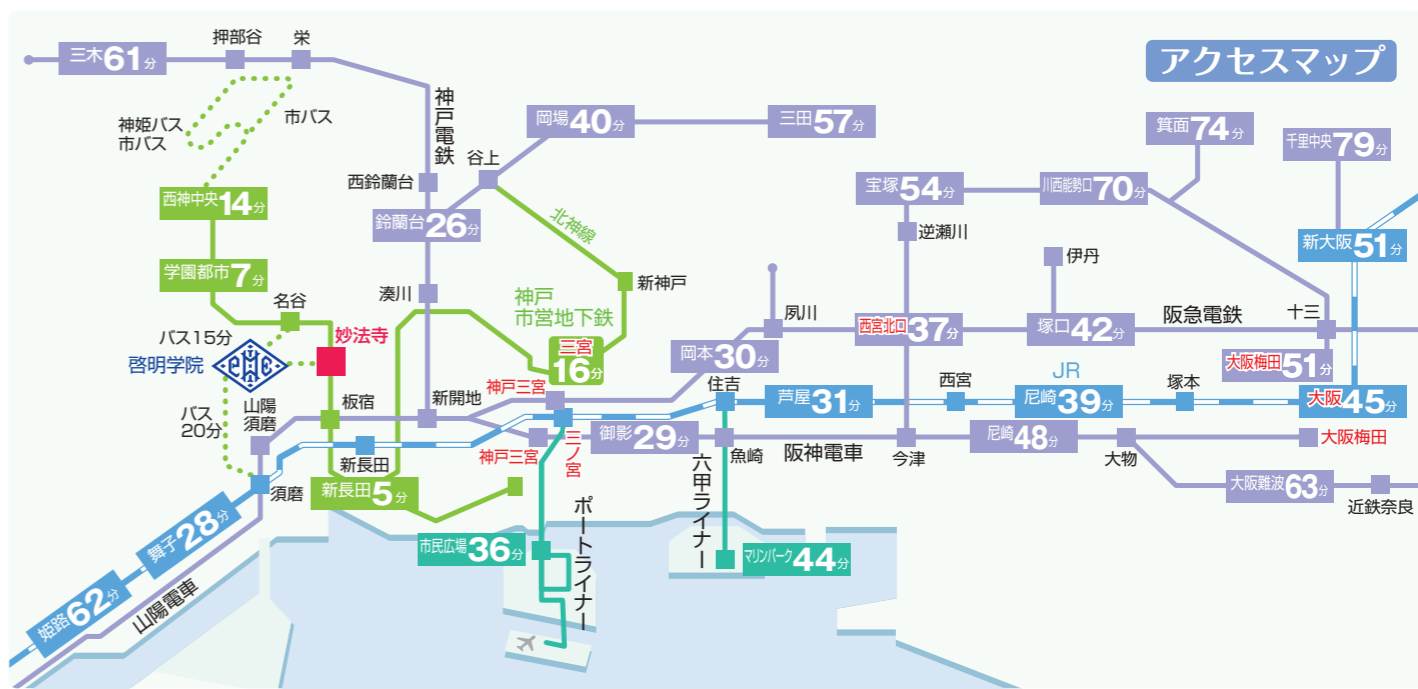
日野原先生のお父様は関西学院で学ばれた後、神戸栄光教会の牧師や広島女学院の院長を務められました。日野原先生もランパス記念幼稚園から関西学院中学部を卒業して医学の道に進まれました。ランパスファミリーにもゆかりの深い方です。

教育振興募金のお願い

入学後、教育施設・設備や内容の充実、奨学金制度の拡充などを目標として、20万円以上の募金をお願いしております。
*啓明学院が公益法人として免税措置の領収書を発行します。

奨学金制度

啓明学院では、高校生のための公的奨学金のほかに、本校独自の奨学金制度を設けています。担任を通じて校長にご相談ください。



- 交通案内
- 徒歩
 - バス (.....印) 「啓明学院前」下車
 - 地下鉄「妙法寺」駅より約12分
 - 地下鉄「妙法寺」駅前発(75系統・73系統など) 所要時間約3分。5~10分間隔で出ています。
 - 「須磨駅前」発(75系統・71系統) 所要時間約20分。5~10分間隔で出ています。国道2号線沿い山陽電車「須磨駅」東50mにバス停があります。